第５講　2025年度 試作問題 第5問

第５問　次の**場面１**および後の**場面２**の文章を読み，後の問い（**問１～５**）に答えよ。（配点　16）

場面１　「倫理」の授業の課題で，「動物の幸せ」について調べて発表することになった，生徒G，生徒H，生徒Ｉは，先生がヒントとして示した「アニマルウェルフェア」というキーワードをたよりに，それぞれ調べたことを持ち寄り，次の会話を，後の**資料１**を見ながらしている。

G：インターネットで「アニマルウェルフェア」って言葉で検索をかけたら，農林水産省のWebページがみつかるよね。

H：国際獣疫事務局（OIC）の定義では「動物の生活とその死に関わる環境と関連する動物の身体的・心的状態」がアニマルウェルフェアなんだって。

G：正直，言葉が難しくてよくわからない。

Ｉ：農林水産省の平成29年の通知に，アニマルウェルフェアの内容がⓐ<u>「５つの自由」</u>として整理してあって，それだとわかりやすいかな。

G：確かに。**資料１**を見ると，「動物」といっても主に畜産動物を飼育するときにどういうことに配慮しないといけないかについてのことだね。

H：これまで日本ではほとんど規制がなかったんだけど，欧州連合などを中心に，家畜にもちゃんと配慮した上で畜産業をやるべきだという流れが強まってきて，日本でも通知が出されるようになったみたいだね。

Ｉ：授業で，畜産業もⓑ<u>地球温暖化</u>に影響しているって話もあったよね。

H：畜産業の人たちもいろいろ気をつけることが増えて大変だね。

G：そうだね，アニマルウェルフェアとか「５つの自由」とかに配慮したら，畜産動物も幸せなのかということを考えて発表すればいいのかな。

Ｉ：畜産動物だけじゃなくて，実験動物についても倫理的配慮が必要らしいから，きちんと配慮しさえすれば動物は幸せなのかってことだよね。

H：実験動物といえば，先生が心理学実験の話をしたときに，ⓒ<u>人に対して実験するときの倫理</u>についても説明していたけど，動物の心についても人間の心と同じように調べられるのかな？

G：動物の心とか幸せを調べた実験があるか，もう少し調べてから集まろうか。

資料１　家畜の飼養管理において配慮すべき「５つの自由」

（1）飢え，渇き及び栄養不良からの自由

　家畜の発育段階等にあわせ，各畜種ごとの栄養要求を考慮し，家畜が量と質のバランスが適切な栄養と生理的要求を満たす十分な飲用水を得ることができるよう努める。（中略）

（2）恐怖及び苦悩からの自由

　家畜を過度又は突然の騒音が発生する環境下に置いたり，突発的に又は手荒に扱うといった不適切な取扱いは，家畜に恐怖や苦悩を引き起こすことがある。このため，畜舎などの家畜の飼養管理施設については，騒音が最小限となるよう維持・管理する。（中略）

（3）物理的，熱の不快さからの自由

　家畜にとって快適な温度域は，品種や発育段階等により異なる。このため，飼養又は輸送する家畜にあわせた暑熱対策や寒冷対策を行い，適温の維持に努める。（中略）

（4）苦痛，傷害及び疾病からの自由

　痛みを伴うおそれのある処置（去勢，蹄の手入れ，除角等）を行う場合，若齢時に実施する，獣医師の指導の下で麻酔や鎮痛剤を使用する等の方法により，家畜の苦痛を緩和するよう努める。また，家畜への苦痛の少ない代替方法等の実施も検討する。（中略）

（5）通常の行動様式を発現する自由

　（中略）群内の家畜同士が敵対して緊張感が増すことがないよう，群の構成に留意する。また，高い密度で飼養することは，けがの発生を増やし，摂食・摂水，運動，休息等の行動に悪影響を与える可能性があることに留意する。（以下略）

（出所）　令和２年３月16日付け農林水産省生産局畜産部畜産振興課長通知「アニマルウェルフェアに配慮した家畜の飼養管理の基本的な考え方について」により作成。

問１　下線部ⓐについて，生徒Gたちが参照した農林水産省の通知では，**資料１**のように「５つの自由」が説明されている。**資料１**でいう「５つの自由」の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 23

① この通知にある「恐怖及び苦悩からの自由」のように「～からの自由」という形の自由は積極的自由と呼ばれる。
② この通知では熱の不快さからの自由は定められているが，寒さの不快さからの自由は定められていないので，農家は寒さには配慮する必要はない。
③ この通知で挙げられている「５つの自由」は，いずれも理性による自己立法を前提としていないので，カントのいう自由には該当しない。
④ この通知によれば，家畜同士が喧嘩するのは家畜の通常の行動様式であるので，喧嘩を自由にさせるのも「5 つの自由」に含まれる。

問２　下線部ⓑについて述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 24

① IPCCの報告書では，地球温暖化対策においては科学的に確実な根拠がある場合にのみ規制措置を講じるべきである，という予防原則の考えに基づいて勧告が行われている。
② 家畜として飼育されている牛が排出するメタンは温暖化を促進する効果があることが指摘されているが，これは小さな環境負荷が集積すると大きな影響を生むという意味で，「共有地の悲劇」と呼ばれる構造の例となっている。
③ 世代間倫理の考え方によれば，現在世代が地球を温暖化させたならば，その利益も不利益も引き受けて暮らしていくのが，子孫である将来世代の現在世代に対する責任である。
④ 温暖化対策の枠組みを定める京都議定書においては，先進国だけでなく発展途上国にも温室効果ガス排出量削減の努力を求めているが，これは温暖化対策の公平性をめざすという意味で環境正義の考え方の一例となっている。

問３　下線部ⓒに関連して，生徒Hは，実験など研究を行うときの倫理原則について書かれた次の**資料２**をみつけた。**資料２**を参考にしつつ，人を対象とした研究の倫理について述べた文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 25

資料２　人を対象とした研究における人格の尊重原則

　本原則は，個人を自律的な人間として扱い，その人が持つ権利を認めるよう求めるものです。自律性とは，判断能力(情報を理解し，処理する能力) と，自発性(他人によるコントロールや影響下になく，自由であること) の両方を兼ね備えていることを意味します。人格の尊重原則は，インフォームドコンセントの手続きや研究対象者のプライバシーを尊重する必要性の根拠となっています。

（出所）　一般財団法人公正研究推進協会「人を対象とした研究ダイジェスト」教材により作成。

①　インフォームドコンセントは医療の現場で行われてきたもので，医師によるパターナリズムを研究の現場にも取り入れたものである。

②　アンケート調査などで参加者が多数の場合はこの原則があてはまらないため，インフォームドコンセントを行う必要はない。

③　研究に参加するかどうかはインフォームドコンセントを受けた本人の意思決定によるもので，途中で参加をやめることも認められる。

④　研究に参加している者から実験の方法や手続きに関する改善要求があれば，参加者の自発性を認め，研究者はそれに従う必要がある。

場面２　生徒G，生徒H，生徒Ｉは，発表の相談のため再び集まり，次の会話をしている。

H：調べたら，動物も遊ぶのが大好きだったり，仲間がいないとふさぎこんだり，そういうところは人間とちっとも変わらないんだって。

G：でも，人間の場合は，ⓓ成長していくなかで，他の人との関係を築くことが大切だし，一人一人の多様な幸せだけでなく，社会全体の幸せもめざしているから，人間はやっぱり人間に特有の面もあるんだよね。そう考えると，人間の幸福と動物の幸福は違うんじゃないかな。

H：では，アニマルウェルフェアに配慮して育てられた家畜は幸せか，ということについて意見をまとめようか。Ｉさんはどう思う？

Ｉ：［　A　］

G：どうしてそう思ったの？

Ｉ：［　B　］

問４　下線部ⓓに関連して，青年期は社会を構成する一員として，他者との関係を培っていく時期である。この時期に特徴的にみられる個々人の心の発達について，次の**ア**～**エ**のそれぞれの説を提唱した心理学者を，後の**a**～**d**のうちから一つずつ選び，その組合せとして最も適当なものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 26

ア　社会的自我の形成には，他者が深く関わっており，さまざまな立場の他者との相互作用を通して，一般化された他者からの期待を身につけていく。

イ　自己中心的な立場から離れ，客観的で多面的なものの見方ができるようになり，具体的な事象を超えた抽象的思考が可能になる。

ウ　他者との間に信頼関係が築けるようになるには，乳幼児期に子どもと養育者との間で愛着（アタッチメント）が形成されることが重要である。

エ　道徳性の発達において，人権や正義といった現実の社会の規則を超えたより普遍的な道徳原理を基準に，道徳的な判断ができるようになる。

a　ピアジェ　　**b**　ボウルビィ　　**c**　コールバーグ　　**d**　G．H．ミード

①	**ア**－a	**イ**－b	**ウ**－c	**エ**－d	②	**ア**－a	**イ**－c	**ウ**－b	**エ**－d
③	**ア**－a	**イ**－d	**ウ**－b	**エ**－c	④	**ア**－c	**イ**－a	**ウ**－b	**エ**－d
⑤	**ア**－c	**イ**－a	**ウ**－d	**エ**－b	⑥	**ア**－d	**イ**－a	**ウ**－c	**エ**－b
⑦	**ア**－d	**イ**－a	**ウ**－b	**エ**－c	⑧	**ア**－d	**イ**－b	**ウ**－a	**エ**－c

問５　場面２の会話文中の空欄 A と空欄 B に当てはまる発言を，生徒Ｉになったつもりで考え，次の(1)，(2)の問いに答えよ。

(1)　まず， A に当てはめたい発言を，次の①～③のうちから一つ選び，そのいずれかをマークせよ。なお，(1)で①～③のいずれを選んでも，(2)の問いについては，それぞれに対応する適当な選択肢がある。 27

① 配慮が行われたとしても，家畜は幸せではないと思うな。
② 配慮が行われているなら，家畜は幸せだと思うな。
③ 配慮が行われないとしても，家畜は幸せだと思うな。

(2)　次に， B に当てはまる，(1)で選んだ主張の内容に対する論拠を述べた発言として最も適当なものを，次の①～⑥のうちから一つ選べ。 28

① 家畜にも人間と同じく幸福を追求する権利があって，アニマルウェルフェアに配慮したとしても，家畜はその幸福を追求する権利が不当に奪われた状態にあるからだよ。
② 自分が幸福かどうかを決めるのは他の誰でもない自分自身で，家畜自身が幸福だと思っているのであれば他人が勝手に幸福かどうか判断するのはおかしいと思うからだよ。
③ 行動の自由や選択の自由というのは幸福というものの一番中心となることで，アニマルウェルフェアに配慮したとしても家畜は行動の自由や選択の自由を手に入れることはできないからだよ。
④ 人間の幸福と動物の幸福は別もので，動物の場合は栄養や健康に配慮してもらえさえすれば最低限の幸福の条件は満たすと思うからだよ。
⑤ 畜産業ができなくなると肉が食べられなくて困るので，アニマルウェルフェアに配慮すれば畜産業は許容されるということは認めてほしいからだよ。

⑥　どんな状態であれ，生まれてきたこと，生きていることだけでも幸せだと思うし，アニマルウェルフェアに配慮していないとしてもそこは変わらないからだよ。

第５講　2025年度 試作問題 第５問　解答

(全大問合計で 100 点満点)

問題番号 (配点)	設　問	解答番号	正　解	配　点
第５問 （16）	1	23	3	3
	2	24	2	3
	3	25	3	3
	4	26	7	3
	5	27	1 又は 2 又は 3	なし
		28	解答番号 27 が 1 の場合は 3 解答番号 27 が 2 の場合は 4 解答番号 27 が 3 の場合は 6	4*

（注）　＊解答番号 27 で 1 を解答した場合は 3，2 を解答した場合は 4，3 を解答した場合は 6 を正解とし，点を与える。